

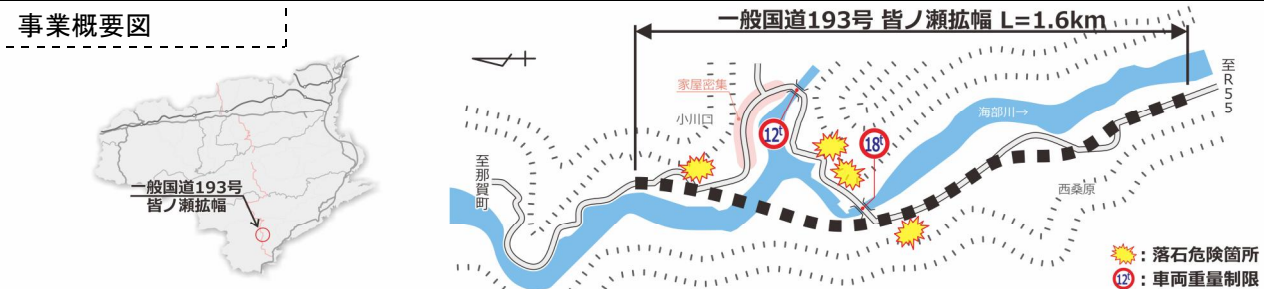
事後評価結果（平成27年度）

担当課：道路整備課
担当課長名：久保 義人

事業名	一般国道 193号 皆ノ瀬拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	徳島県
起終点	自：海部郡海陽町小川	至：海部郡海陽町西桑原	延長	1.6km	

事業概要
一般国道193号は、香川県高松市を起点とし、美馬市、吉野川市を經由し、海部郡海陽町へ至る延長127kmの道路である。当路線は、県南地域における南北幹線軸として地域住民の生活を支え、災害時における緊急輸送道路としての役割のほか、「轟の滝」をはじめとする観光地への連絡道路としても重要な路線であるが、落石危険箇所が多数存在するうえ、幅員狭小で線形不良区間も連続し、交通の隘路となっていたことから、延長1.6km区間を現道拡幅及びバイパス方式により整備するものである。

事業の目的・必要性
当工区は幅員が狭小でしかも屈曲し、見通しも悪いことから、海陽町営バスなどの大型車両の離合もままならず、諸車両の通行の支障となっており、落石の危険も存在している。これらを解消することにより通勤・通学などの生活道路として安全・安心な通行の確保や災害時の確実な住民避難などが図れる。



事業を巡る社会経済情勢等の変化
・平成18年3月：海南町・海部町・宍喰町の3町が合併し海陽町が誕生。

- 事業効果**
- ① 走行距離が約0.24km短縮し走行時間が短縮。
 - ② すれ違い困難箇所が解消し、安全性と走行性が改善（1車線→2車線）。
 - ③ 車両重量制限が解消し、大型車両の通行による経済活動（主に林業）の効率化。
 - ④ 落石危険箇所(4箇所)を対策実施又は回避し安全性が改善。実績として、改良済となって以降災害による被災なし。
 - ⑤ 第三次救急医療施設、災害拠点病院（徳島県立海部病院など）へのアクセス向上。
 - ⑥ 地元等からの意見（近隣住民からのヒアリング結果）・通勤時間が短くなった。（50代男性）
安全性が向上した（60代男性）
 - ⑦ 観光アクセスルートの確立（海陽町沿岸部（まぜのおか、宍喰温泉等）と“轟の滝”の連携）
 - ⑧ 医療・福祉サービスの向上（当該区間よりも上流の緊急搬送の迅速化及び災害時等の孤立化の危険低減）
 - ⑨ 林産業の発展

事業期間	事業化年度	H11年度	用地着手	H12年度	工事着手	H12年度	前回比	1.1倍
	供用年	(前回評価時) H25		(今回) H26				
事業費	前回評価時	27.0億円		実績	27.0億円		前回比	1.0倍
交通量		(前回評価時) 920台/日		(今回) 880台/日		前回比	96%	
費用対効果分析結果 (前回評価時)	B/C	総費用	総便益			32.3億円	基準年	平成20年
	1.2	27.4億円	走行時間短縮便益：29.6億円 走行経費減少便益：2.6億円 交通事故減少便益：0.1億円					
費用対効果分析結果 (今回)	B/C	総費用	総便益			34.8億円	基準年	平成27年
	1.0	34.1億円	走行時間短縮便益：31.8億円 走行経費減少便益：2.7億円 交通事故減少便益：0.3億円					

当工区では事前に県、町と連携して地元との調整を行ったことから、用地買収、工事施工などが円滑に課題と今後の進捗が図れた。今後も関係機関及び地元住民と一体となった事業展開を図り円滑な事業進捗に努める。事業への反映 また、車両重量制限が解消されたことによる経済活動の効率化、高度医療施設等へのアクセス向上等が図られたことによる周辺生活環境への影響を継続的に把握し、今後の類似事業への反映へ努める。